

免許状教科	中学校 I 種 (社会)		
科目名	介護等体験事前事後 指導	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Practice Care Training	開講年次	<input type="checkbox"/> 1 年 <input type="checkbox"/> 2 年 <input checked="" type="checkbox"/> 3 年 <input type="checkbox"/> 4 年
ふりがな	しばた ひろし	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input checked="" type="checkbox"/> 集中
担当者名	柴田 博	修得単位	2 単位
授業のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上の障害をもっている方々の状況を理解する。 ・教育現場と福祉現場での実習を通して障害をもって生活する方々を理解する。 		
到達目標	「生活上の障害」を考えることができる。		
授業概要	福祉施設や特別支援学校の特性や社会に果たす役割を理解し、介護等体験実習を实践し、生活上の障害を学ぶことを通して、どのような支援が必要であるかを思考する授業としたい。		
授業計画			
第 1 回	「介護等体験」で、何を学ぶのか		
第 2 回	「介護等体験」の事前学習 ① 現代社会の教育の課題		
第 3 回	② 今、教師に求められる資質・力量		
第 4 回	③ 介護等体験の目的と概要		
第 5 回	④ 介護等体験の事前準備		
第 6 回	「介護等体験」の現場に立って ① 介護等体験の手順と方法		
第 7 回	② 特別支援学校等のあらましと介護等体験の心得・実際		
第 8 回	③ 社会福祉施設を取り巻く状況		
第 9 回	④ 社会福祉施設のあらまし (高齢者にかかわる施設)		
第 10 回	⑤ 社会福祉施設のあらまし (児童施設・障害児者にかかわる施設)		
第 11 回	介護等体験に臨む際の心構え		
第 12 回	介護等体験の実際		
第 13 回	実習報告とスーパービジョン		
第 14 回	介護等実習体験のまとめ		
第 15 回	介護等実習体験のまとめ		
第 16 回	試験・・・レポート作成		
授業時間外の学習	新聞・書籍・ビデオ等を視聴し、障害をもって生活している方々の生活を知っておくこと。		
履修条件 受講のルール	特にない。		
テキスト	介護等 体験 ハンドブック 大修館書房、介護等体験ガイドブック フィリア ジアース教育 新社、よくわかる社会福祉施設 全社協		
参考文献・資料	必要に応じて提示する 福祉に関する VTR 視聴		
成績評価の方法	出席状況、学習態度、実習報告の内容、試験の総合評価		
オフィスアワー	授業終了後。		
成績評価の基準	【平成 27 (2015) 年度以前に入学した学生】 優 (100～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下) 【平成 28 (2016) 年度以降に入学した学生】		

	秀 (100～90 点)、優 (89～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下) ・出席回数が規定に満たない場合は定期試験を受験することができない。 ・授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができない。
学生への メッセージ	社会には、様々な障害をもつ方々がいることを学んでほしい。